抑 留 問 題 研 究 会

歴史の空白を埋めるために

厳寒・飢餓・強制労働に象徴される「シベリア抑留」の実相はいかなるものであったか。伝聞・推定・憶測に起因するステレオタイプのとらえ方を排し、抑留経験者の肉声によって、あの「シベリア抑留」とは何だったのかを今に伝える。あわせて、今後の視座を参加者とともに考察します。

研究者、友好運動活動家はもちろん、青年・学生層にも幅広く参加を呼びかけます。

講 師　　山内 伊三男氏（日本ユーラシア協会常任理事、元抑留問題委員長）
元関東軍兵士・シベリア抑留生活体験者・戦史研究家

テーマ　「歴史の空白を埋めるために」
―いまなぜ抑留問題か？ 歴史の空白を埋め、問題を風化させないために―

日 時　　2011年6月18日（土）13：30～15：00

会 場　　日ソ会館 301号室
東京都世田谷区経堂 1-11-2 日本ユーラシア協会 TEL3429-8231

参加費　　日本ユーラシア協会会員500円（非会員800円）

※ 研究会終了後 講師を囲んで交流会を行います。

連絡先　　都連 抑留問題研究会世話人 久保田 090－3497－1813

主 催　日本ユーラシア協会東京都連 抑留問題研究会